

タウンミーティング（町長あいさつ）議事録

みなさん、こんばんは。王寺町のタウンミーティングは、今年で４回目の開催となりますが、今回は教育に焦点を当てたタウンミーティングをさせていただいております。今回も、たくさんの方にお集まりいただき、まずは御礼を申し上げます。また、平素は、町の諸行事等々にご協力、ご理解いただいておりますことを改めて、御礼を申し上げたいと思います。つい先日も、王寺ミルキーウェイを開催させていただいたところ、たくさんの方々にご参加いただき、王寺町の水辺空間や、あるいは達磨寺という歴史空間を活用した王寺らしいイベントになってきたのかなと思っています。今後もみなさんにご協力をいただきながら、是非、継続していきたいので、色々なご意見をいただければと思います。

はじめに挨拶を兼ねて、王寺町教育振興ビジョンについてお時間をいただきたいのですが、併せて、折角の機会でございますので教育はもちろん、王寺町の行政について、色々と幅広く行政サービスを行っており、全てを話す時間もございませんが、最近の町政の動きを、ぜひ皆様方に知っていただけたらというものも含めて、お時間をいただいております。

今年の２月１１日は町制施行９０周年、満９０年の日でありまして、大正１５年、１９２６年の２月１１日に町制を施行した。王寺町にはそういう経緯があります。昨年は戦後７０年と色々節目の年であり、この節目をどの様に今後の町政に活かすのかということで、町制施行９０周年記念式典を開催させていただきました。それ以外にも様々な記念行事を開催させていただきましたが、ある新聞社の取材で、次の１００周年に向けて、どのような町づくりをして行くのですかというインタビューを受け、道路や病院といった色々な基盤整備をやっていききたいわけではありますが、私はそのときに、「教育のまち」といわれるような町づくりをしていきたいと申し上げました。それは、今日の話にも当然関連してくるわけですが、これはまた後ほど、話をさせていただきます。

それ以外の最近の町政の動きや、話題の紹介をさせていただきたいと思います。まず１つ目は、今年の８月に奈良県と王寺町とのまちづくりの連携協定を結ばせていただきました。その内容として、１つは王寺駅周辺を今後どのように町づくりをしていくかということです。王寺駅は、１日５万人の乗降客があり、奈良県のＪＲの中で最も乗降客数が多い駅です。西和地域の拠点である王寺駅の周辺をどのように見直していくか、今も取り組んでおりますが、その中で、県やＪＲの協力がないと中々進まないこともあり、この度、県と協定を結ばせていただきました。そのうち１つの大きな目玉が、王寺駅の南側にある電車の退避線の部分を県と町で協力してＪＲにお願いをし、王寺の町づくりに使いたい。これは今後の交渉のため、まだ決まったわけではございませんが、是非、広い電車の退避線の部分をどこかに移設していただいて、あの場所をまちづくりに使えたらと考えています。例えば、西和医療センター、旧三室病院は、昭和５４年に稼働していますので、もう３７年経過しており、かなり老朽化しております。その改築及び移設を県はテーマにしています。

できれば、旧三室病院を誘致できないかと知事をお願いをしています。そのためにも王寺駅南側のあの広い用地を県で取得していただき、それを県が活用し、また町も活用して行きたい。例えば、大規模な商業施設や、観光振興のためにホテルを誘致するとか、あるいは、駅前広場を作るなど王寺の街並み整備に活用する。これが今、一番大きな課題であり、町づくりのテーマかと思っています。余談ですが、見ていただいた方も多いかもしれませんが、8月の末に「なんでも鑑定団」に出演しました。鉄道のまち王寺ということで、そのときに舟戸児童公園に展示してあるD51をなんとか上手く活用して、駅前広場整備をしたいということを収録本番の時に言いました。ご存じの方も多いと思いますが、新橋駅のように町のシンボルとしてSLがあるのと同じように、なんとかD51を移設して、SLのある駅前広場に整備できたかと思っています。そういった都市機能を王寺駅周辺に集積することが今1番大きな課題だと思っています。

2つ目に「道路」についてですが、まず「国道25号」については、王寺町役場から北に向い、JRと近鉄の線路を越え、大和川を渡り、旧三室病院へ向かう現在2車線の道路です。この区間ではバスも通りますが、西和消防署があつて、旧三室病院や恵王病院があり、統計上、年間およそ1万回もの救急車が往来すると言われています。つまり1日30回程度の往来となります。このようなことから、なんとか王寺町役場の前から三室病院の北側までを4車線へ改良したいのですが、これは国の直轄事業となりますので、国にお願いするしかありません。夏以降、国に要望に出向き、県にも合わせて要望させてもらっています。これは、一朝一夕には出来ないと思いますが、このように要望活動をしていかないと、地元で実現したいと思っていても出来ないわけです。

それから「国道168号」です。これは県の高田土木事務所に施工していただいています。畠田4丁目交差点から南に向かうわけですが、用地の補償や営業補償がなかなかスムーズにはいかないところもあります。町も協力しながら、地権者の方になんとか協力をしていただき、できるだけ早く香芝インターまでを4車線改良していただきたいと思っています。お願いすることばかりですが、これが町の色々な生活の基盤になる場所ですので、要望をしっかりと伝えていきたいと思っています。また、畠田駅前広場の整備についても、今、地元の方に説明会を開催し始めているという状況でございます。

それから3つ目に紹介させていただきたいのは、泉の広場公民館です。泉の広場公民館は耐震が出来ていません。かなり古い施設なので、今年発生した熊本地震の教訓を踏まえて、公民館の改築に合わせ、公民館ではありますが防災の拠点にしたいと思っています。防災の拠点となるように、設備、施設を見直していきたいと思っています。例えば、テニスコートがありますが、これはどうなるのかというご質問を受けます。限られた施設ですので、テニスコートは別のところに移設するという構想があります。熊本地震の事例でもあるように、テントや車中で一時をしのがれる方がたくさんいました。このことから、そういったスペースを残しておくことが不可欠であるなど、このようなことを考慮しながら泉の広場の整備に着手しています。早ければ、平成30年の上期にはオープンさせたいと思っています。

それから、福祉関係で、特別養護老人ホームですが、王寺町は山間部は別として、県の中でも特別養護老人ホーム、それから老人保健施設という、いわゆる施設型の老健施設がない、唯一の町であったと思いますが、特養とか老健というのは、広域圏で県がバランスを取って配置しています。例えば、上牧町には郁慈会という施設がありますので、これまでこの地域としては充足されているということでした。しかし今の時代、団塊の世代の皆様が10年後には80歳近くになり、超高齢化社会が目に見えているわけですから、いくら健康づくりとか予防といっても、どうしてもやはり、介護施設が足りなくなり、これはもう避けられないことなので、その対応は今からやっておくべきだということで、県に申請をし、特別養護老人ホーム開設の許可をいただきました。これから整備を民間の法人にお願いするわけでありますが、早ければこれも平成30年4月にオープンをさせたいと思っています。50床＋ショートステイ10床という施設であります。今のところ、畠田地区に整備を予定いたしております。

他にも色々、明神山の整備であるとか、紹介したい点は、多々ありますが、今日の本来のテーマは「教育」でありますので、それ以外のことは、この程度にさせていただきます。

先程も言いましたが、私はやはり将来を担う子どもたちをどの様に育てていくのかということが、市町村の責務の一番大事なことだと思っています。そういう意味で、「教育のまち」といわれるような町づくりをしたいと思っているわけであり、昨年12月には「教育振興ビジョン」を作りました。皆様方のお手元に概要版が届いていると思います。今日は、これを1つ1つ説明する時間はございませんが、国の指示として、県も含めて、どの市町村でも教育振興大綱をつくらなければならない、王寺町としては、早期にこの教育振興ビジョンの策定に着手して、昨年12月に完成し、概要版にまとめさせていただきました。教育の基本は「知」・「徳」・「体」であることは間違いありません。それにプラス王寺町の特性ということで、「誇」という文字と「和」という2つの文字をつけ加えて、5つの「知」・「徳」・「体」・「誇」・「和」をキーワードとさせていただきます。「誇」の意味は、ふるさとをよく知って愛する心が基本になるだろうと思っています。王寺町も当然、歴史があり文化があり、優れた魅力のある町なので、地域をよく知り愛することで、誇りを持ってもらうということを教育の基本にしたいという思いから、「誇」という言葉を入れさせていただきました。「和」という言葉は、王寺町は聖徳太子ゆかりの地ということで、町民憲章にも「和」という文字があり、十七条憲法の「和」という言葉を意識したやわらぎ会館もあります。今こそ、調和であるとか平和であるとか、そのような精神が改めて求められているということも含めて、特に地域のふれあいを意識していただきたいということで、「和」という言葉もキーワードにさせていただきました。そういった特長と関連してきますが、子どもたちの人格形成を促す責任は、学習環境をどう整えるかということになるのではないかと思います。今日は、教育関係の方も来られています。カリキュラム1つ1つの中身は専門家ではないのでわかりませんが、学校施設でありますとか、あるいはどういう過程をもって王寺町の教育環境の基盤を作るかが、われわれの最大の仕事であり、責任であります。このようなことから「学習環境の整備を優先的にやりたい」という内容が、教

育振興ビジョン概要版の右側の2つ目に書かれています。その中で、義務教育学校を構想しているわけです。また、後で詳しく担当の方から説明しますが、9年一貫の義務教育学校という制度が今年の4月から国の方で学校教育法上制度化された仕組みであるということ、それから、すでに東京の方ではかなりの数の学校が9年一貫の取組をされており、実際、その検証もされています。全てが100%良いというわけではありませんが、メリットが多いという実績、実証結果もあります。今、在校されている生徒のみなさんには申し訳ないと思っていますが、現在、小学校の一番古い校舎は昭和34年建築です。王寺中学校の一番古い校舎も昭和39年で、要するに築50年以上経っている校舎となります。以前より改修等のご要望も承っております。今はどこでも空調設備は標準装備になってきています。そういった基本的な学習環境を整備したいのですが、残念ながら今の施設のままで、仮にトイレを改修するとなると、それだけで数千万円の経費を要します。空調設備の整備についても、単に機械を入れるだけではなく、配管であるとか、電気関係も古いので全て変えないといけません。できるだけ、そういう施設の更新を近々の要請として、要望と合わせて早期にやっていきたいと思えます。しかし、王寺小学校は創立100年を超える王寺町のシンボルとしての学校だと思いますが、聖徳太子ゆかりの「片岡王寺」というお寺の文化財の包蔵地で、たくさんの埋蔵物が存在すると県の方から言われています。ここをもう一度調査して改築しようとする、最低でも10年はかかるというのが県の見解です。これは、当然のことながら待つはおれませんので、王寺小学校の機能は王寺中学校に移した上で、9年一貫の義務教育学校にしたいと考えています。9年一貫のメリットを導入するということで、この方法が一番早く環境整備が行える、今われわれができる最善の選択肢かなということで絵を描きまして、今日皆様に色々なご意見を伺うということです。それから、前後するかもしれませんが、ビジョンを作るときに私が一番こうあってほしいなと思ったのが、前国連大使の吉川元偉さんが、奈良に来られて講演されたお話の中で、「良き国際人」を教育として育てる。「良き国際人」とは、まず「良き日本人」であること。歴史文化といったもの、いわゆる日本人らしさを身につけていることが一番大事で、歴史文化を自分の言葉で説明できることが大事だとおっしゃっていました。2つ目が、自分の考えをきちんと伝える能力を持つこと。これが国際人の2大要素だと吉川さんはおっしゃっています。一足飛びに国際人は育ちません。英語だけでできればいい、決してそのようなことはありません。人間としての人格を形成したその地域、あるいはそれは「ふるさと」かもしれませんし「歴史文化」かもしれません。ぜひこのことを王寺の教育にも反映できたらと思っています。

先日、王寺町の今の学力はどうかということで、全国の調査と県独自の調査が混じっていますが、資料の1つ目、小学生の市部郡部を見ていただいたらわかりますが、色を塗っているところが王寺町です。これが、王寺町の小学校6年生の学力の全国比較です。全国平均よりは上ですが、全国1位の石川県の平均よりも劣っています。秋田と石川が、全てのところで大体トップランクです。全国平均は上回っていますが、全国1位の石川県の平均学力まで、学力の向上を図っていききたいと思っています。その下、県の調査で小

学4年生です。これも、色を塗っているところが王寺町で、3小学校の平均です。県全体で4番目です。裏面が中学校です。中学校3年生の全国比較、これも色を塗っているところが王寺町です。全国平均よりも上ですが、これも全国1位の福井県の平均よりは低い。せめて全国で1位の福井県の平均までは、やはり努力して向上させる必要があると思います。同じく下が、中学校1年生、県独自の調査です。この平均は、相対的に今までよりも低く、全体で8位、町村で6位となっています。これ以上のデータは県からも教えていただけません。本当なら、学校ごととか色々と分析する必要がありますが、今のところこのような相対比較しかできませんが、県から王寺町の小中学生の学力がどのような位置にあるかの情報提供がありましたので、参考にみなさんに見ていただきたく、追加で資料にさせていただきました。王寺町が置かれている主な課題、それから教育について町が目指そうとしていることの概略を私から説明させていただきました。この後、担当から、資料を元に説明をさせていただきます。そして、その後教育も含めて、最後に時間のある限りみなさんの意見をいただきたいと思います。私の説明は以上とさせていただきます。